

# 決算説明会

## 業績概要・経営方針

**2009年度決算**

(2009年4月1日～2010年3月31日)

2010年5月13日(木)

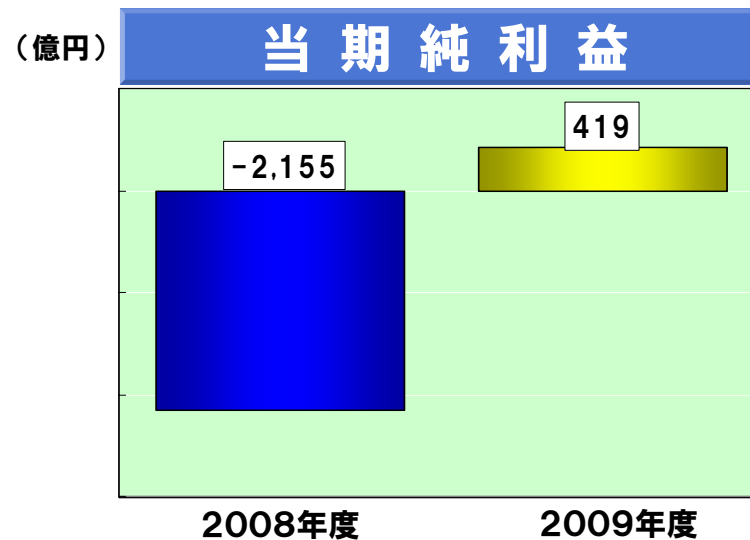
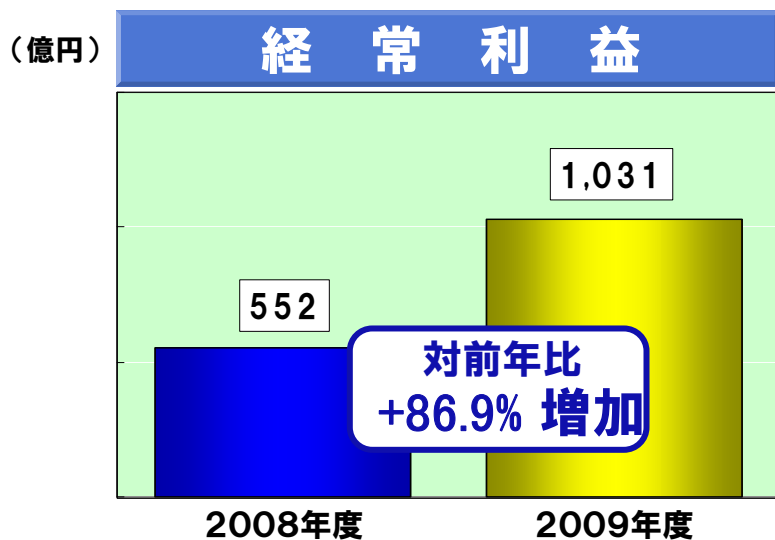
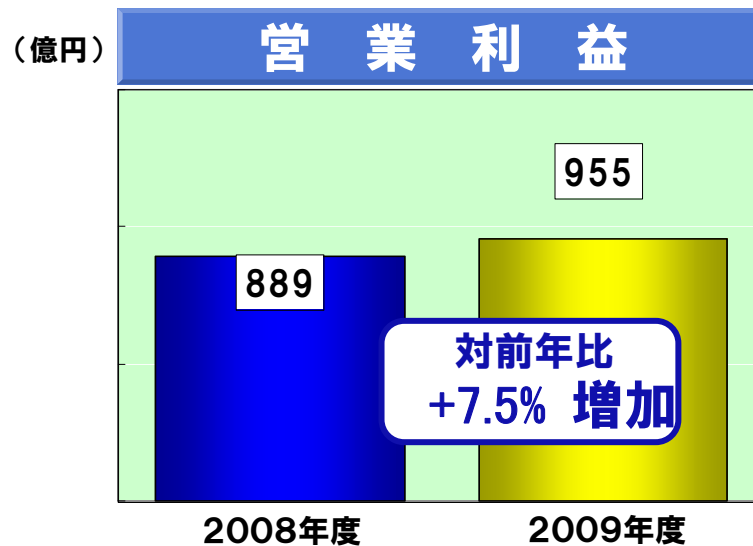
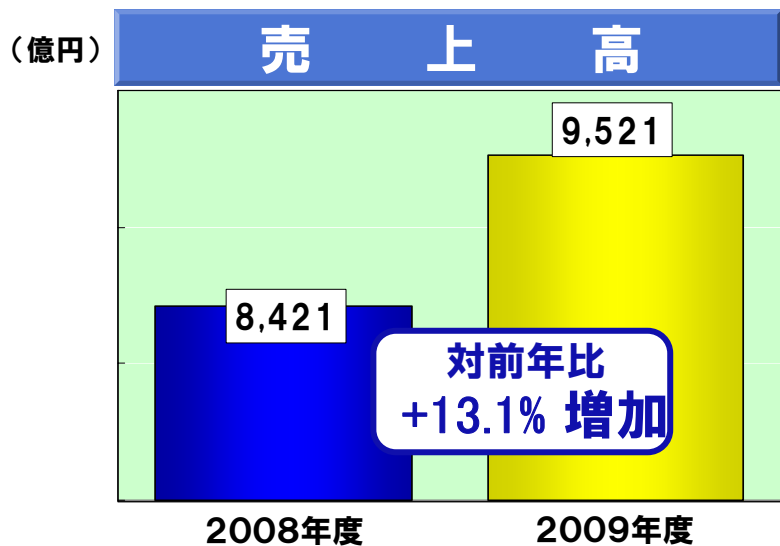
代表取締役社長 兼 CEO 庄田 隆



第一三共株式会社

# 決算概況

# 2009年度連結業績（実績）の概要



# 2009年度連結業績（実績）の概要 - 前年同期との比較 -

（単位：億円、金額上段は対売上高構成比）

	2008年度（4-3月）実績		2009年度（4-3月）実績		増減 ②-①
	①	再掲 Ranbaxy社関連 （10-12月）	②	再掲 Ranbaxy社関連 （1-12月）	
売上高	100.0% <b>8,421</b>	100.0% <b>386</b>	100.0% <b>9,521</b>	100.0% <b>1,467</b>	<b>1,100</b>
売上原価	25.5% <b>2,144</b>	57.8% <b>223</b>	29.2% <b>2,780</b>	51.4% <b>754</b>	<b>636</b>
販管費	42.1% <b>3,543</b>	65.3% <b>252</b>	40.1% <b>3,818</b>	41.3% <b>606</b>	<b>274</b>
研究開発費	21.9% <b>1,845</b>	24.6% <b>95</b>	20.7% <b>1,968</b>	7.0% <b>103</b>	<b>123</b>
販管費計	64.0% <b>5,389</b>	90.9% <b>351</b>	60.8% <b>5,786</b>	48.3% <b>709</b>	<b>397</b>
営業利益	10.6% <b>889</b>	-48.4% <b>-187</b>	10.0% <b>955</b>	0.2% <b>3</b>	<b>66</b>
経常利益	6.6% <b>552</b>	-111.9% <b>-432</b>	10.8% <b>1,031</b>	4.8% <b>70</b>	<b>479</b>
当期純利益	-25.6% <b>-2,155</b>	-687.6% <b>-2,654</b>	4.4% <b>419</b>	4.8% <b>70</b>	<b>2,574</b>

※2008年度はランバクシー社ののれん減損3,513億円を特別損失に計上。

## 1. 売上高 9,521億円 (+1,100億円, 13.1%)

- ランバクシー社寄与: +1,080億円
  - ランバクシー社2009年度売上高: 1,467億円  
北米26.1% インド19.3% 欧州17.1% 他地域36.9%
- ランバクシー社以外: +19億円(為替の影響約-250億円)
  - 増加要因: オルメサルタン類+272億円、ロキソニン類+83億円
  - 減少要因: レボフロキサシン-105億円、プラバスタチン-58億円、エイゾール一時金収入-46億円

## 2. 営業利益 955億円 (+66億円, 7.5%)

- ランバクシー社寄与: +190億円
  - 業績寄与期間 08年度: 3ヶ月→09年度12ヶ月+57億円
  - のれん償却費等の減少 +133億円
- ランバクシー社以外-124億円
  - 売上総利益-85億円  
円高による原価率悪化
  - 販売管理費-77億円  
欧米子会社での販促費減等
  - 研究開発費+114億円  
エドキサバン等開発プロジェクト費用増

## 3. 経常利益 1,031億円 (+479億円, 86.9%)

### ■ 営業外収益 +159億円

- ランバクシー社関連: +197億円      デリバティブ評価益等
- ランバクシー社以外: -38億円      受取利息の減少等

### ■ 営業外費用 -254億円

- ランバクシー社関連: -115億円      前期為替デリバティブ評価損計上
- ランバクシー社以外: -139億円

(為替差損の減少-68億円、擬似ストックオプション評価損の減少-52億円)

## 4. 当期純利益 419億円 (+2,574億円)

### ■ 特別利益: +21億円

- 固定資産売却益、投資有価証券売却益等の増加

### ■ 特別損失: -3,556億円

- 前期ランバクシー社のれん減損3,513億円

### ■ 法人税等: +1,292億円

- 過年度税金計算の修正75億円、DS単体試験研究費税額控除不適用により、税率は51.4%

### ■ 少数株主利益: +191億円

# 2009年度連結業績（実績）の概要 - 業績予想(1月)との比較 -

(単位：億円、金額上段は対売上高構成比)

	2009年度業績予想		2009年度 実績		
	5月時点 ①	1月時点 ②	実績 ③	1月との 差異 ③-②	備考
売上高	100.0% <b>9,600</b>	100.0% <b>9,600</b>	100.0% <b>9,521</b>	<b>-79</b>	国内医薬品:-27 ヘルスケア:-43
売上原価	29.0% <b>2,780</b>	29.7% <b>2,850</b>	29.2% <b>2,780</b>	<b>-70</b>	
販管費	40.8% <b>3,920</b>	40.1% <b>3,850</b>	40.1% <b>3,818</b>	<b>-32</b>	販促費等の圧縮
研究開発費	20.2% <b>1,940</b>	20.2% <b>1,940</b>	20.7% <b>1,968</b>	<b>28</b>	
販管費計	61.0% <b>5,860</b>	60.3% <b>5,790</b>	60.8% <b>5,786</b>	<b>-4</b>	
営業利益	10.0% <b>960</b>	10.0% <b>960</b>	10.0% <b>955</b>	<b>-5</b>	
経常利益	7.2% <b>690</b>	10.4% <b>1,000</b>	10.8% <b>1,031</b>	<b>31</b>	
当期純利益	4.2% <b>400</b>	4.7% <b>450</b>	4.4% <b>419</b>	<b>-31</b>	





# 主要製品の状況 - 邦貨換算 -

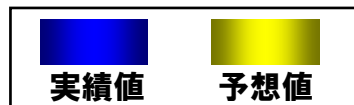
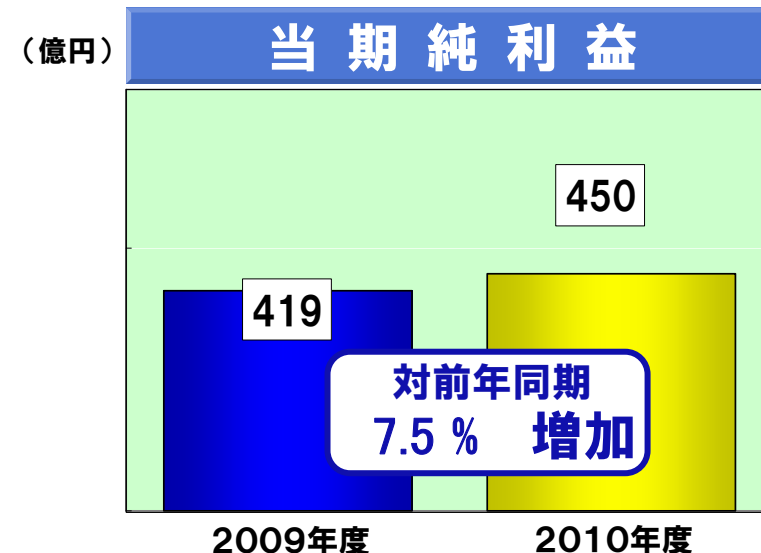
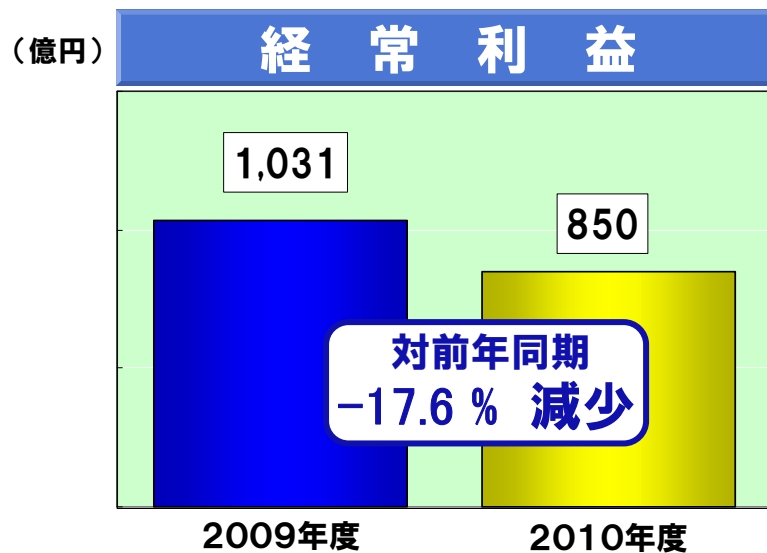
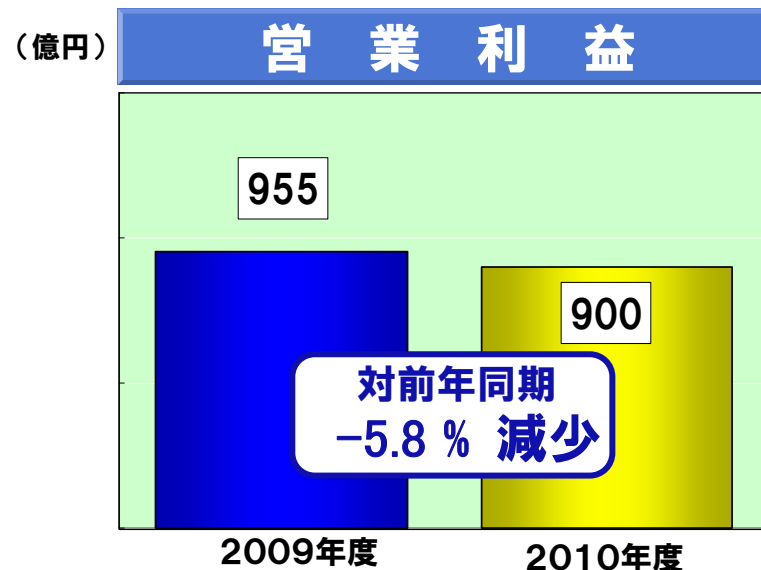
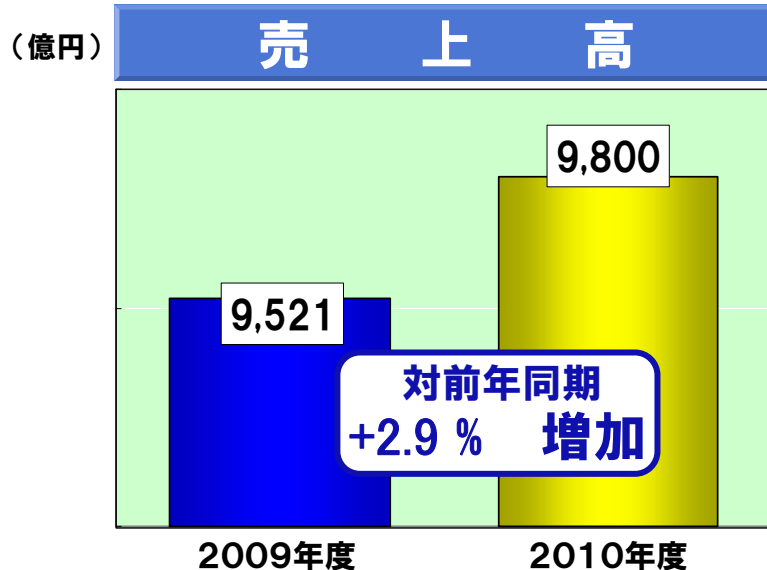
(単位:億円)

	商品名	2008年度 実績	2009年度	
			実績	対前年同期 増減
GLOBAL	オルメサルタン <高血圧症治療剤>※	2,111	2,383	272
	レボフロキサシン <合成抗菌剤>	977	872	-105
	プラバスタチン <高コレステロール血症治療剤>	608	550	-58
	プラスグレル <抗血小板剤>	-	5	5
日本	カルブロック <高血圧症治療剤>	121	137	16
	アーチスト <高血圧症治療剤>	219	233	14
	クレメジン <慢性腎不全用剤>	128	133	6
	ロキソニン <消炎鎮痛解熱剤>	387	470	83
	オムニパーク <造影剤>	283	273	-10
	ユリーフ <排尿障害改善剤>	79	90	11
米国	ヴェノファー <貧血治療剤>	320	322	1
	ウェルコール <高コレステロール血症治療剤 /2型糖尿病治療剤>	245	275	30

# 主要製品の状況 - 現地通貨ベース -

		2008年度 実績	2009年度 実績		
			実績	対前年同期	
				増減	伸長率
第一三共 Inc.<米国> (百万ドル)	Benicar / Benicar HCT	869	958	89	10.2%
	Azor	86	138	51	59.4%
	Welchol	244	296	53	21.7%
第一三共ヨーロッパ GmbH <欧州> (百万ユーロ)	Olmetec / Olmetec Plus	261	304	43	16.5%
	Sevikar	15	48	33	216.5%
ルイトポルド ファーマシューティカルズ Inc.<米国> (百万ドル)	Venofer	319	346	28	8.6%

# 2010年度連結業績予想の概要 ①



# 2010年度連結業績予想の概要 ②

(単位：億円、金額上段は対売上高構成比)

	2009年度 実績	2010年度 業績予想	
		連結業績予想	対前年同期 比較
売上高	100.0% 9,521	100.0% 9,800	279
売上原価	29.2% 2,780	29.6% 2,900	120
販管費	40.1% 3,818	39.8% 3,900	82
研究開発費	20.7% 1,968	21.4% 2,100	132
販管費計	60.8% 5,786	61.2% 6,000	214
営業利益	10.0% 955	9.2% 900	-55
経常利益	10.8% 1,031	8.7% 850	-181
当期純利益	4.4% 419	4.6% 450	31

## 増減の主要因

### 国内営業

- ・オルメテック：+88億円
  - ・ロキソニン類：+40億円
  - ・新製品：+130億円
  - ・メバロチン：-92億円
  - ・クラビット：-106億円
- (薬価改定の影響は-300億円と試算)

### 海外営業

- ・オルメサルタン：+80億円
  - ・ランバクシー社売上増：+184億円
  - ・レボフロキサシン輸出：-53億円
- (為替の影響は、-150億円と試算)

### 販管費

- ・グローバル主力製品・新製品発売に伴う  
販促費増等 +82億円
- ・主要開発プロジェクト進捗に伴う  
研究開発費増等 +132億円

# 主要製品の売上高計画 - 邦貨換算 -

(単位:億円)

商品名		2009年度 実績	2010年度 予想	
			年度	対前年同期
GLOBAL	オルメサルタン <高血圧症治療剤>※	2,383	2,600	217
	レボフロキサシン <合成抗菌剤>	872	700	-172
	プラバスタチン <高コレステロール血症治療剤>	550	440	-110
日本	カルブロク <高血圧症治療剤>	137	140	3
	アーチスト <高血圧症治療剤>	233	225	-8
	クレメジン <慢性腎不全用剤>	133	130	-3
	ロキソニン <消炎鎮痛解熱剤>	470	510	40
	オムニパーク <造影剤>	273	230	-43
	ユリーフ <排尿障害改善剤>	90	115	25
米国	ヴェノファー <貧血治療剤>	322	270	-52
	ウェルコール <高コレステロール血症治療剤 /2型糖尿病治療剤>	275	285	10
国内長期収載品比率		約55%	約40%	

# 主要経営指標

	単位	2008年度 実績	2009年度 実績	2010年度 予想
1株当たり当期純利益	円	-304.22	59.45	63.93
1株当たり配当金(年間配当)	円	80	60	60
配当性向	%	-	100.9	93.9
期末発行済株式数	百万株	709	709	709
総資産	億円	14,946	14,895	
純資産	億円	8,886	8,895	
自己資本比率	%	57.7	57.4	
純資産配当率(DOE)	%	5.4	4.9	
自己資本当期純利益率(ROE)	%	-	4.9	

# 研究開発パイプラインの状況

# 主要開発品目一覧表

	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	承認申請中
循環器	・DB-772d		・プラスグレル (ACS-MM) ・エドキサバン (AF/VTE)	・エドキサバン (#) ・CS-8635
糖代謝		・CS-1036		
がん	・U3-1287	・Tigatuzumab ・ニモツズマブ (#) ・ARQ 197 ・CS-7017		
感染症	・CS-4771			・レボフロキサシン注 (#) ・ラニナミビル
骨・関節			・Denosumab (#)	・ロキソニンゲル (#)
免疫・アレルギー	・CS-0777	・SUN 13834		
その他		・DD-723-B (#)	・ヒトグレリン	・シロドシン(中国) ・メマンチン (#)

- ・グローバル(日本以外)で開発している課題に関しては、最も進んだステージのみ記載
- ・#:日本のみの開発



# 2009年度中に達成した主要マイルストーン

- **Effient<sup>®</sup>の米国承認・発売**
- **クラビット<sup>®</sup>錠500mg・錠250mg・細粒10%の日本承認・発売**
- **3剤配合剤※ CS-8635の欧米申請**
  - ※オルメサルタン、アムロジピン、ヒドロクロロチアジド
- ・ **レザルタス<sup>®</sup>の日本承認(2010年4月16日発売)**
- ・ **抗インフルエンザウィルス薬(治療)ラニナミビルの日本申請**
- ・ **アルツハイマー型認知症治療薬メマンチンの日本申請**
- ・ **エドキサバンの静脈血栓塞栓症予防の国際共同試験開始(HOKUSAI VTE試験)**
- ・ **エドキサバンの下肢整形外科手術後の静脈血栓塞栓症予防の日本申請**

## ➤ 2009年度第3四半期決算発表(1月)以降の変化

### ● 新規追加

- ・エドキサバン/ 静脈血栓塞栓症(グローバル):P3
- ・CS-7017/ 抗がん剤(PPAR $\gamma$ 活性化剤)(日/アジア):P1
- ・CS-4771/ 敗血症:P1

### ● ステージの変更

- ・エドキサバン/ 静脈血栓塞栓症(術後)(日):P3→申請
- ・ラニナミビル/ 抗インフルエンザウイルス薬(治療)(日):P3→申請
- ・メマンチン/ アルツハイマー型認知症(日):P3→申請
- ・CS-1036/ 糖尿病(糖吸収阻害剤)(日/アジア):P1→P2

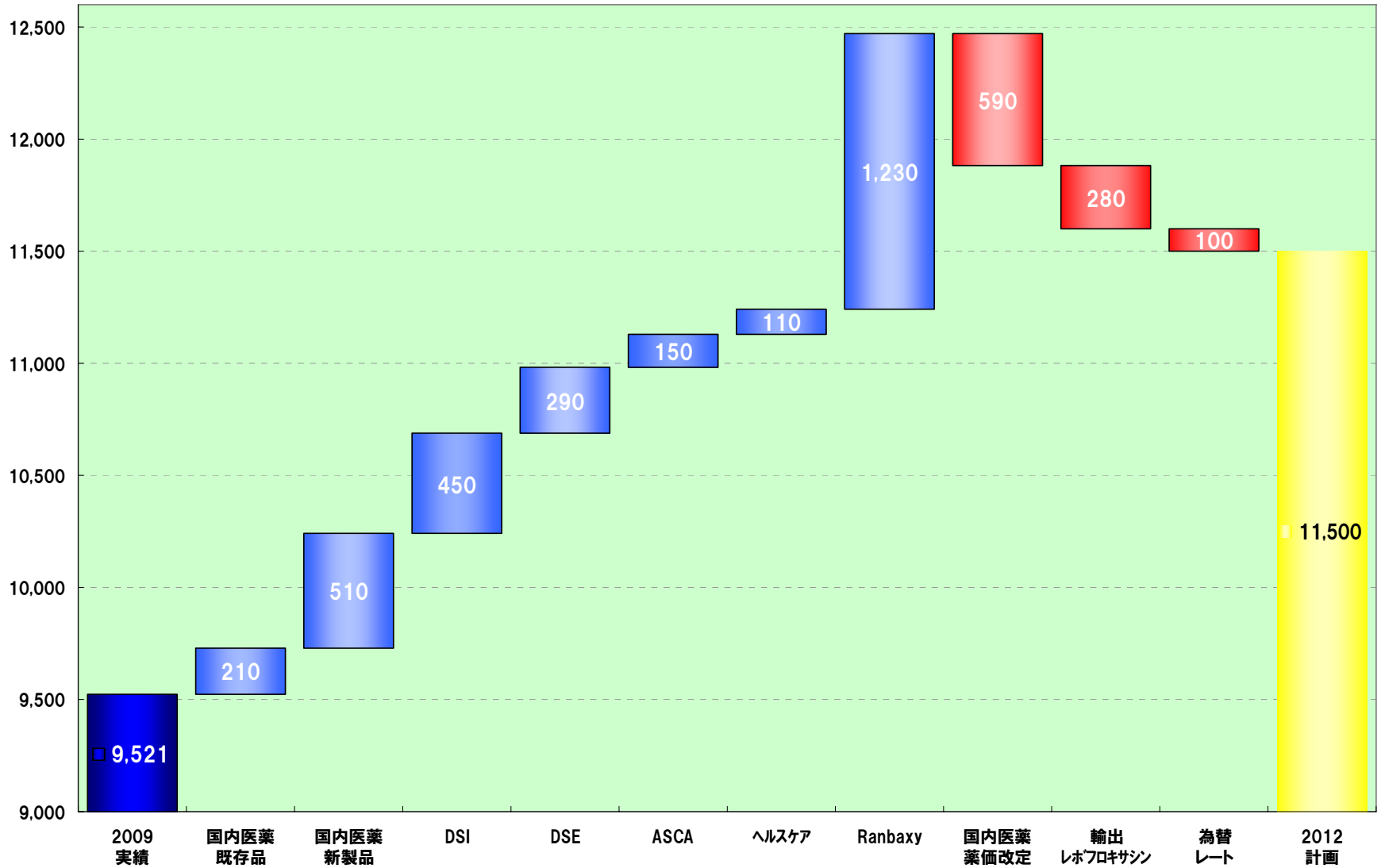
# 第2期中期経営計画の 補足説明

## 第2期中期経営計画の計数目標

	2009年度実績		2012年度目標	
	億円	%	億円	%
売上高	9,521	100.0	11,500	100.0
再掲)ランバクシー社売上高	1,467	-	2,700	-
売上原価+販管費	8,566	90.0	9,700	84.3
再掲)研究開発費	1,968	20.7	2,000	17.4
営業利益	955	10.0	1,800	15.7
海外売上高	4,823	50.7	6,500	56.5
為替レートの前提	円/ドル	92.9円	90円	
	円/ユーロ	131.2円	130円	

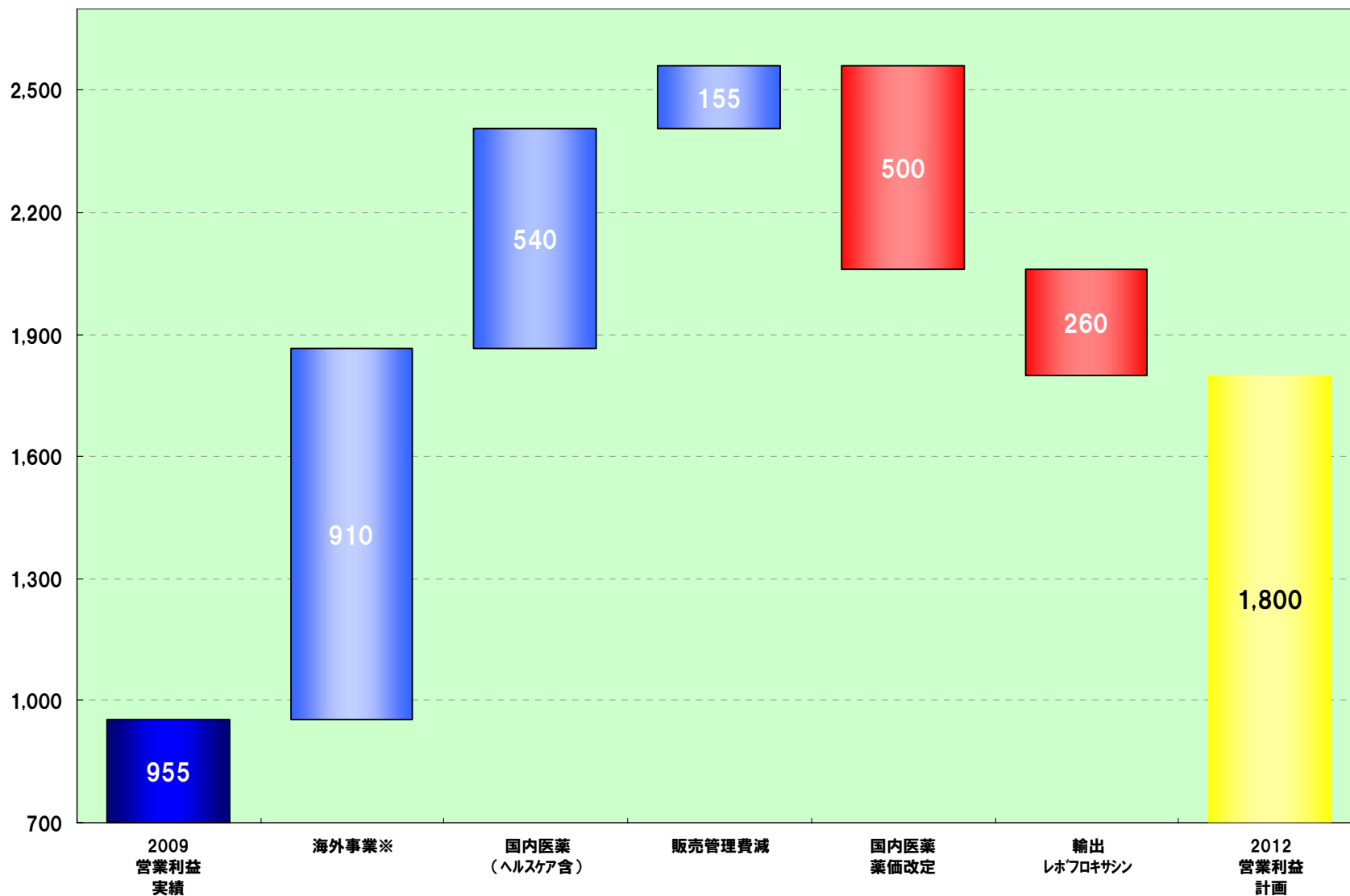
# 増収要因（2009年度→2012年度）

(億円)



# 増益要因（2009年度→2012年度）

（億円）



# 2010年度 第一三共主催 主要イベント予定

内容	日付
2010年度第1四半期決算	2010年7月30日開示
2010年度第2四半期決算	2010年10月29日開示
R&D説明会	2010年11月～12月
2010年度第3四半期決算	2011年1月31日開示

本資料に関するお問い合わせ先

**第一三共株式会社**  
**コーポレートコミュニケーション部**

**TEL: 03-6225-1126 (報道関係者の皆様)**

**03-6225-1125 (株式市場関係者の皆様)**

**FAX: 03-6225-1132**

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。